

考える人

清水希容子

財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

“シンクタンク”（Think Tank）は、米国で生まれた研究機関を形容してつくられた言葉と言われる。その特徴は「中長期的な未来に関する戦略的な政策提言を行う非営利の独立機関」とされ、日本では“頭脳集団”とも訳される。

わが国にも、「地域シンクタンク」と呼ばれる経済研究所が結構ある。いずれも地方銀行や自治体などが母体となって設立されたものである（地図参照）。1960年代から、幾度かの研究所設立ブームを経て、最近では、市町村単位の比較的小さなエリアのシンクタンクの設立が相次ぐ。これは、地域主権に呼応する「地域のことは現場で考える」試みの表れである。

各地のシンクタンクでは、どのようなテーマが扱われているだろうか。当財団地域未来研究センターのホームページの「地域データ図書館」内には各地の研究レポートのタイトルを分類し紹介する『ご当地レポート』コーナーがある。現在、約40のシンクタンクの約900本が掲載され毎月追加している。産業調査から、環境、交通、観光、文化、生活スタイルに至るまで、地域特有の様々なテーマが研究されている。

生活スタイルには、住みやすいまちとは？ 子育てしやすいまちとは？ 安心安全なまちとは？ など、最も身近で大切な課題に挑戦している。産業調査では、攻めの農林水産業、地域性豊富なものづくり、世界に誇れる産品や中小企業の取組が具体的に紹介されている。また、地元食品スーパー、書店、冠婚葬祭業の動向など、日常生活に関するものも欠かせない。

自然エネルギーやエコライフなどの環境、プロスポーツや音楽などの文化ものも増えている。これらは、今後の地域経済の発展を考える上で、ますます重要なテーマであり登場回数が増えると思われる。

山形県のフィデア総合研究所（旧荘銀総合研究所）は、地元Jクラブのモンテディオ山形について継続して取り上げ、関わる人と人とのネットワークを広げて地域経済の波及効果を高めることを提案している。提案後も引き続き現場で活動が続け、例えば、「観戦から観光へ」という提案に、クラブと温泉地と共同でPRチラシを作成したり、もてなし隊を結成したりして、日々具体的な実践方策が同時に考えられる。

しがぎん経済文化センターでは、音楽文化の創造についての考えが活発に議論される。コンサートの演奏家、聴衆、主催者がそれぞれの持ち味を発揮して三位一体で「音楽文化」を育てることを考えている。自ら会報をつくってその魅力を積極的に伝え、十年にも及ぶ活動は、今日のびわ湖ホールの建設につながった。

共立総合研究所（岐阜県大垣市）は、名古屋駅前のJRセントラルタワーズの誕生で、中心市街地の栄地区の地盤沈下を懸念して、効率や機能を優先する駅前地区に対し、ゆとりや遊びを大事にする栄地区を演出するよう提案した。5年後、10年後の姿を想定し、今打てる手を打っていくべきと、危機感を共有して行動に移っている。

単なる提案ではなく、現場で考えながら一緒に行動することは、現場のことを最も良く知る地域に根ざしたシンクタンクだからこそ可能なこと。地域との距離が身も心も近ければ近いほど、地元からの注目や期待も大きくなる。そこに一人の「考える人」が現れると、その周りには一緒に「動く人」が集まってくる。そして、現場は互いに呼応し合い、地域はひとりでは変わっていく。

地域の未来への歯車は、「考える人」から回り始める。

地域シンクタンク

()内は母体行
数字は設立年

フィデア総合研究所(荘内銀行)1998

新潟经济社会リサーチセンター(第四銀行)1973
ホクシン経済研究所(北越銀行)
上越市創造行政研究所2000
新潟市都市政策研究所2007

北海道二十一世紀総合研究所(北洋銀行)1973

秋田経済研究所(秋田銀行)1979

長野経済研究所(八十二銀行)1984

北陸経済研究所(北陸銀行)1978

北国総合研究所1994

共立総合研究所(大垣共立銀行)1996

京都総合経済研究所(京都銀行)1987

ひょうご経済研究所(みなと銀行)1983
神戸都市問題研究所1975

青森地域社会研究所(青森銀行)1978

岩手経済研究所(岩手銀行)1982

岡山経済研究所(中国銀行)1977

とっとり地域連携・
総合研究センター1995

ひろぎん経済研究所(広島銀行)1965
中国地方総合研究センター1948

山陰経済経営研究所(山陰合同銀行)1985

山口経済研究所(山口銀行)1974
下関21世紀協会1988

東北活性化研究センター1961

福島経済研究所(東邦銀行)1982
いわき未来づくりセンター1995

九州経済調査協会1946
北九州経済研究所(山口銀行)2002
福岡アジア都市研究所1988

島根 鳥取 京都 福井 富山 新潟 山形 秋田 青森

あしぎん総合研究所(足利銀行)2009

群馬経済研究所(群馬銀行)1983

長崎経済研究所(十八銀行)1989
ながさき地域政策研究所2002

山口 佐賀 福岡 山形 福井 新潟 富山 群馬 栃木 茨城 千葉 山梨 長野 石川 福井 富山 新潟 山形 秋田 青森

常陽産業研究所(常陽銀行)1995
常陽地域研究センター(常陽銀行)1969

地域流通経済研究所(肥後銀行)1989

大銀経済経営研究所(大分銀行)1990

鹿児島地域経済研究所(鹿児島銀行)1990

みやぎん経済研究所(宮崎銀行)1993

いよぎん地域経済研究センター(伊予銀行)1988
えひめ地域政策研究センター1986

四銀キャピタルリサーチ

香川経済研究所(百十四銀行)1980

徳島経済研究所(阿波銀行)1985

南都経済センター(南都銀行)1984

和歌山社会経済研究所1981

自然総研(池田銀行)1996
堺市政策研究所1997
関西经济社会研究所1964

名古屋都市センター1991
東三河地域研究センター
中部産業・
地域活性化センター1966
地域問題研究所1963

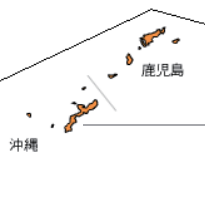
浜銀総合研究所(横浜銀行)1988
さがみはら都市みらい研究所2003
横須賀市都市政策研究所2002

山梨中銀経営コンサルティング(山梨中央銀行)
山梨総合研究所1998

企業経営研究所(駿河銀行)1982
清水地域経済研究センター(清水銀行)
静岡経済研究所(静岡銀行)1963
静岡総合研究機構1984

しがぎん経済文化研究センター(滋賀銀行)1984

三重銀総合研究所(三重銀行)1996
百五経済研究所(百五銀行)1985



りゅうぎん総合研究所(琉球銀行)2006
おきぎん経済研究所(沖縄銀行)2004
南西地域産業活性化センター1988

* (財)日本経済研究所にて作成。
* 当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページにて拡大してご覧になれます。